

平成19年度当初予算の概要

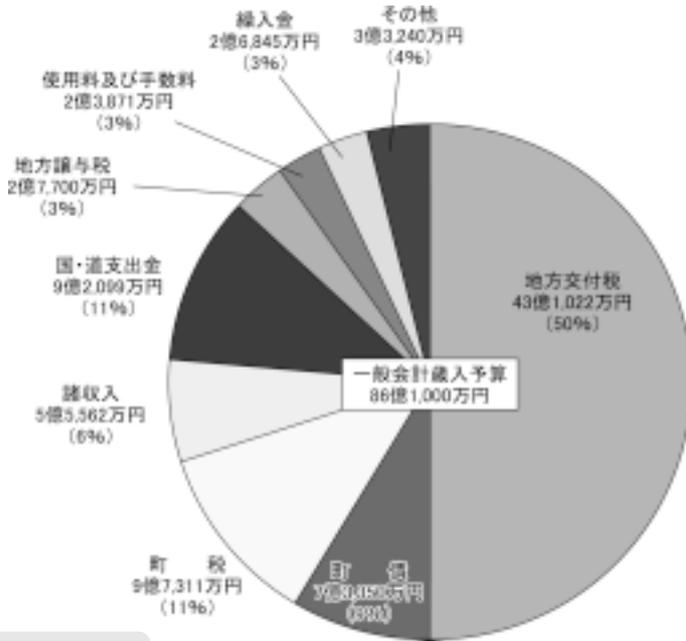
平成19年度は統一地方選挙の年にあたり、町長・議会議員の改選期です。当初予算は町政運営の基本となる経費を中心とする、骨格予算で編成されました。人件費、公債費などの義務的経費のほか継続事業に関する経費、国の制度改定に伴い派生する経費など、行政の継続に必要なものについて所要の措置を講じています。この結果、一般会計総額は前年対比15・6%減の86億1,000万円となり、特別会計と企業会計を加えた総額では、同12・0%減の114億1,348万8千円の予算となりました。

一般会計の歳入の多くが町税と地方交付税によるものですが、町税は税源移譲や定率減税の廃止に伴い個人町民税が大幅に増えたことから前年対比9・4%増の9億7,311万円を計上しました。

地方交付税については、本町の特殊要因や新型交付税導入による影響などを考慮し、前年対比1・7%増の43億1,022万円を計上しました。

歳出予算の構成は骨格予算ですので義務的経費の占める割合が高くなっていますが、人件費は前年対比0・4%減の14億5,254万4千円、物件費は同1・4%減の8億2,919万7千円、維持修繕費は同4・8%減の2億5,368万7千円といずれも削減に努めています。

事業費については継続事業として道路網の整備に6億3,600万円、住環境の整備に3,060万6千円などを計上しています。その他の主な施策は6ページをご覧ください。



財信用語の解説

一般会計 町の行政運営の基本的な経費を経理する会計です。
特別会計 特定の歳入・歳出を一般会計と区分して経理する必要がある場合に設けられる会計です。

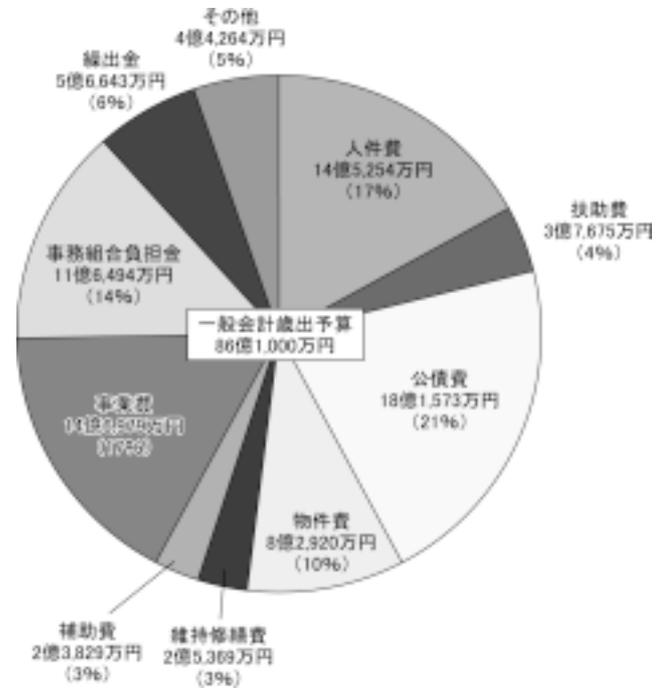
各会計予算集計表

(単位：千円)

会計区分	予算総額		一般会計からの繰入金等		
	予算額	前年度予算	予算額	前年対比	
一般会計	8,610,000	10,204,000	—	—	
特別会計	国民健康保険会計	6,900	10,930	—	—
	老人保健施設事業会計	353,932	352,449	41,086	▲ 8,897
	水力発電事業会計	19,150	19,150	—	—
	白金泉源事業会計	15,332	15,605	1	0
	簡易水道事業会計	95,914	68,636	20,642	9,392
	公共下水道事業会計	510,361	534,133	233,884	▲ 48,008
小計	1,001,589	1,000,903	295,613	▲ 47,513	
企業会計	水道事業				
	収益的支出	222,963	198,010	817	817
	資本的支出	163,858	172,538	—	—
	小計	386,821	370,548	817	817
	病院事業				
収益的支出	1,292,080	1,302,765	270,000	0	
資本的支出	110,858	81,958	—	—	
小計	1,402,938	1,384,723	270,000	0	
小計	1,789,759	1,755,271	270,817	817	
合計	11,401,348	12,960,174	566,430	▲ 46,696	

町民一人あたりの経費はいくら？

総額では75万5千円
 公債費 15万9千円
 人件費 12万7千円 事業費 12万9千円
 平成19年3月31日現在の人口11,408人での計算です。



性質別用語の解説

- 人件費** 職員の給与や議員・審議会・行政委員の報酬などの経費です。
- 扶助費** 生活困窮者や身体に障がいのある方々などに対する生活維持費、医療費や児童手当などの経費です。
- 公債費** 町の借入金に対する償還金です。
- 物件費** 公共施設管理や物品購入費、旅費などの経費です。
- 維持修繕費** 道路維持や除雪経費のほか、公共施設を維持するための経費です。
- 補助費** 各種団体への補助金や負担金などの経費です。
- 事業費** 道路や町営住宅の整備など、公共施設の建設に伴う経費です。
- 事務組合負担金** 大雪消防、清掃組合、広域連合への負担金などの経費です。
- 繰出金** 病院や下水道事業など、特別会計へ繰り出す経費です。

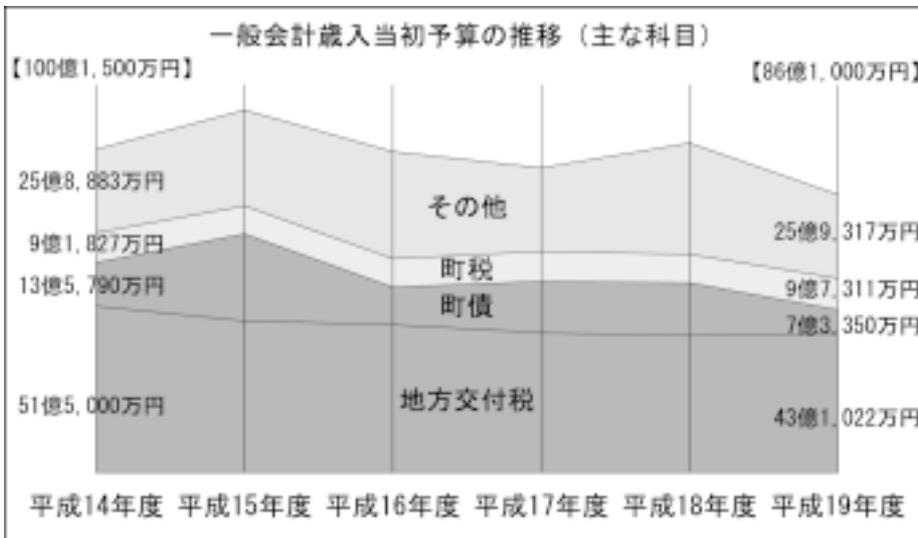
企業会計

歳入・歳出

地方交付税

地方公営企業法の適用を受ける公営企業の会計です。4月から翌年3月までの1年間における全ての収入を『歳入』、全ての支出を『歳出』といいます。国から町に交付されるお金です。各地方公共団体が標準的な行政を行うために必要な経費に対して、町税収入などがこれを下回る場合には、その不足分を補うために交付されます。国の税金のうち、所得税・法人税・酒税・消費税・たばこ税から一定の割合で交付されます。

一般会計歳入当初予算の推移 (主な科目)



平成19年度の主な施策の紹介

元気のある産業経済のために

- ◇中山間地域等直接支払制度 2億4,500万円
農産物生産奨励支援、担い手育成対策事業、マーケティング活動支援事業、農業情報高度化支援事業など。
- ◇元気な地域づくり交付金事業 687万円
アグリパーク整備事業に対して補助します。
- ◇道営事業負担金 4,456万円
新星地区ほか5地区の基盤整備を推進します。
- ◇畜産担い手育成総合整備事業 3,266万円
酪農生産基盤整備を行い、酪農経営の安定化を図ります。
- ◇21世紀北の森づくり推進補助事業 2,020万円
無立木地における広葉樹などの造林や天然林の針広混交林化を図り、木材資源の循環のための造林を実施した森林に助成します。
- ◇中小企業町特別融資貸付金 6,300万円
- ◇商工業指導育成支援 1,683万円
- ◇観光の振興 1億5,202万円
観光協会に対する補助、ビルケの森パークゴルフ場の管理、白金保養施設の管理、四季の情報館の管理、ラヴニールの管理運営、丘のくらの管理運営など。
- ◇イベントと交流の推進 1,985万円
丘のまちフェスティバル、宮様国際スキーマラソン、ヘルシーマラソン、ふるさと会など。

思いやりのある社会福祉のために

- ◇地域福祉の推進 4,009万円
社会福祉協議会の運営補助、福祉バス運行費、更生医療給付費、保健センターの管理運営など
- ◇高齢者福祉の充実 2億5,801万円
老人福祉施設措置費、介護サービス利用料軽減助成、高齢者団体の支援、敬老会開催への補助、移送・除排雪・くらし援助など各種サービス、老人福祉寮・いきいきセンターの管理運営、福祉センターの管理運営、高齢者福祉住宅の整備など。
- ◇障がい者福祉の充実 1億8,477万円
補装具給付、小規模通所授産施設運営補助、自立支援給付、地域生活支援事業など。
- ◇児童福祉の充実 2億1,612万円
児童手当の支給、どんぐり保育園・へき地保育所の管理運営、児童館の管理運営、子ども通園センターの管理運営、ブックスタート事業など。
- ◇保健予防活動の推進、医療活動の充実 8億6,667万円
保健指導、予防接種、総合健診、医療費扶助、町立病院への補助、大雪地区広域連合への負担金など。

活きいきとした暮らしづくりのために

- ◇道路・公園・河川・都市の整備 12億9,866万円
町道・農道の整備、町道の維持補修、除雪対策、雪寒建設機械の整備、公園やパークゴルフ場の維持管理、交通安全施設の整備、街路灯の管理など。
- ◇住宅環境の整備 4,307万円
町営住宅の管理、南町町営住宅の整備、住宅のバリアフリー化に対する助成、大町団地の外構整備、憩町団地の解体など。
- ◇ライフラインの確保と循環型社会の形成 7億8,246万円
簡易水道・下水道特別会計への繰出、合併処理浄化槽の整備、廃棄物の収集、浄化センターの管理運営、大雪清掃組合・大雪葬斎組合への負担金、町営墓地の管理など。

はつらつとした人づくりのために

- ◇学校教育の充実 2億4,783万円
小中学校の維持管理、学校給食の運営、英語指導助手の配置、スクールバスの運行管理など。
- ◇生涯学習の推進 3,186万円
町民センターの管理運営、社会教育団体の運営補助、公民館事業、人づくり育成など。
- ◇芸術文化の振興 1,022万円
図書館・郷土資料館の管理運営、図書の購入など。
- ◇スポーツ、レクリエーションの振興 3,350万円
スポーツ教室の実施、スポーツ団体の育成補助、スポーツセンターの管理運営、その他体育施設の管理運営など。

みんなで創る住みよい町に向けて

- ◇町民参加と地域活性化の推進 1億967万円
議会の運営、議会報の発行、各選挙の執行に係る経費、地域振興奨励補助、行政区・町内会の運営補助、行政区会館運営費の補助、日本で最も美しい村推進、水沢ダム環境整備など。
- ◇防災体制の推進 3億4,128万円
防災無線の管理、火山情報センターの管理運営、大雪消防組合への負担金など。
- ◇情報化の推進 3,533万円
広報の発行、総合行政情報システム(Reams.NET)の管理など。
- ◇交通安全の推進 460万円
交通安全指導員や女性交通指導員の活動支援など。